

池中だより

- 【教育目標】
- すすんで学び実践する人
 - 感謝する心を持ち責任を果たす人
 - 心身ともに健康な人

2月号

平成25年2月1日

豊島区立池袋中学校

自分と向き合う

校長 堀 利光

暦の上では春が近づいていますが、実際は寒さが一番厳しい時期です。学校は4月から3月が一つの年度となっていますので、この時期に学力検査や入試が行われるのもやむをえないことなのでしょう。3年生は進路を決定するために懸命にがんばっている真っ最中です。今日も都立校の推薦の合格発表があります。人生で初めて経験する生徒がほとんどです。何歳になっても試験に不合格になるのはいやなものです。しかし、試験というのは合格する人もいれば落ちる人もいるわけです。それを恐れていたのでは何も始まりません。自分と真剣に向き合う絶好の機会ととらえてください。この試練を乗り越えた時、自分が大きく成長したことを実感するはずです。

2年生は今3年生が取り組んでいる姿を見て学んでほしいことがたくさんあります。ぜひ来年の自分の姿と重ね合わせて、今のうちから中学卒業後に何をやりたいのか徐々に考えを固めていく時でもあります。また、3年時の修学旅行の前段階としての都内巡りもあります。この時期は学習面・生活面の全てが3年生つながっていると考えてください。

1年生は先月の21日～23日に二泊三日の行程でスキー教室を行いました。特筆すべきは三日間最後まで全員がスキー実習に参加したことです。今までできなかったことができるようになった、さらに上達した、という達成感や成就感が味わえたはずです。この行事を通して、自分に自信を持ち何事にも積極的に取り組むことを身につけてください。

このように、各学年ともこの時期は次のステップへ移るための大切な時だということがわかります。もう春はそこまで来ています。厳しい季節に耐えてがんばった者だけがより一層春の到来を感じることができるのです。

「保護者による学校評価」について

11月末から12月初めに「保護者による学校評価」を実施させていただきました。延べ227名、全体の割合では79%の保護者の方にご回答いただきました。各質問項目の回答(%)については別紙を参照していただきますが、顕著な項目について触れます。

「良い」が多かった項目

9 開かれた学校づくり

- ①「学校参観週間をはじめとして、教育活動を積極的に公開している」 52.2%
- ②「学校だよりや学年通信はわかりやすい」 50.4%

逆に、「良い」が少なかった項目

7 特別支援教育

- ①「特別支援教育は充実している」 12.0%

ちなみに、「わからない」(38.2%)の回答が一番多かった項目でもあります。

3 学習活動

- ①「家庭学習に取り組ませる工夫をしている」 12.2%

自由記述のご意見についても全職員が目を通すと同時に、各分掌(教務・生活指導・保健給食・施設担当等)部会で取り上げ、来年度に向けて改善を図ってまいります。お忙しい折にも関わらず、ご協力ありがとうございました。

